

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 1 月 15 日作成)

小委員会名	キャンパス・リビングラボラトリ小委員会	主 査 名：小篠 隆生 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：小浦 久子
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	本小委員会は、従前より培ってきた都市、地域と建築、マネジメントの分野横断的研究実践のスタイルを生かし、①キャンパスと周辺市街地双方に適用可能な新しい空間デザイン手法の検討、②サステイナブルなキャンパスと周辺市街地を実現する評価と計画手法の検討について、大学キャンパスをモデルとしたリビングラボラトリを構築し検討する。 初年度：(1) 出版企画を脱稿・刊行（2019.10 月末脱稿予定） (2) 大会オーガナイズドセッションの企画、開催 (3) 連携研究会の開催 2 年度：(1) 大会オーガナイズドセッションの企画、開催 (2) 国内外ネットワークとの交流活動（CAS-Net JAPAN*や ISCN**）による意見交換会 (3) 公開連携研究会の開催： 研究会（リビングラボ）を研究者、大学施設管財担当者、キャンパス計画・設計実務担当者、大学経営層、行政を交え開催し、キャンパスと周辺市街地へ適用できる空間デザイン手法に対する課題共有化。 *サステイナブルキャンパス推進協議会 **International Sustainable Campus Network	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 主査：小篠隆生（北海道大学） 幹事：吉岡聡司（大阪大学） 太幡英亮（名古屋大学） 委員：出口 敦（東京大学） 恒川和久（名古屋大学） 土田 寛（東京電機大学） 斎尾直子（東京工業大学） 安森亮雄（宇都宮大学） 武田史朗（立命館大学） 脇坂圭一（静岡理工科大） 小貫勲子（東北大学） 笠原 隆（文部科学省） 平 輝（北海道大学、公募委員）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2019 年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/toshi/s1/Campus/Home.html

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回（年度内計画を含む） 5/11, 7/27, 9/20, 10/2, 12/18, 3/20
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	まちのようにキャンパスをつくりキャンパスのようにまちをつかう 副題；大学キャンパス再生のデザイン
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 情報交流シンポジウム (第 23 回) 2019.09.02. 会場：IT ビジネスプラザ武蔵、参加者 41 名（会員 25、会員外 13、学生 3） (資料名)『大学キャンパス移転と都市戦略』 2. 公開小委員会・勉強会 2020.03.02. 13:30~17:00、会場：建築会館 301+302 『「リビングラボラトリ」を都市や社会の持続的発展へどうつなげていくか』 参加定員；30 名、小委員会以外へも広く告知を行う。

大会研究集会	オーガナイズドセッション都市計画部門： 「キャンパスを手がかりとした新たな計画・デザイン・マネジメント手法の提案」 参加者数 約 40 名、 応募論文数 5 題、採用論文数 4 題
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 当初の活動計画は 100%達成できた。特に数年をかけて取り組んだ出版を刊行することができた。 2. 出版活動で得られた論考を基盤として、2020 年大会の研究懇談会に向けて一般参加可能な勉強会を開催（3 月予定）し、次年度以降の活動展開への足がかりを構築している。
委員会活動の問題点・課題	1. OS への参加論文数を募り、応募数をあげること。 2. HP の充実。